

令和4年度 事業報告書

第十八期 令和4年 4月 1日から 令和5年 3月 31日まで

特定非営利活動法人LONMARK JAPAN

1 事業の成果

令和4年度もコロナ環境下でのオンライン活動がメインとなった。ロンマークジャパンの定款は本来「オープンシステムの普及推進活動」であり、LonWorksに関する技術や知識の強みに加えBACnet, KNX, Modbus, HD-PLCその他の規格が混在する状況における統合インテグレーションの啓蒙推進を目標としている。それぞれの規格団体が各特長を主張するだけではインテグレーションを実際に行う現場では、様々な規格の知識が必要となり、難しさが増加するばかりであった。ロンマークジャパンではこの時代の変化をとらえマルチプロトコルの統合の実際に関する技術や知識の普及に焦点を当ててきた。

一方LonWorksのルーツであるEchelonは何回かのM&Aの結果、製品及び情報に関して問い合わせ先が不明確であったが、Chip関連はRenesasに帰属し、SmartServerやツールなどのソフトウェア関係はEnOceanに帰属することで明確となった。スマートシティやスマートビル関連の活動はガイドライン作成に協力した。また会員からの要請で大阪技術士会のセミナーに参加しスマートビルに関する情報を提供した。

- (1) 最新のマルチプロトコル対応ソフトを組み込んだデモシステムにより、実機の動作を研究調査することにより、統合インテグレーションの実際の動作を検証した。
- (2) HD-PLCアライアンスと定例会議で相互技術協力を行い、HD-PLCとLONを接続する商用利用可能なブリッジの提案と実機の検証を行った。
- (3) デモ実機の内容紹介はセミナーを通じ、関連するBA技術者とIT技術者へ情報提供を実施した。
- (4) デジタル庁のデジタルアーキテクチャデザインセンターからの依頼でロンマークジャパンの立場からスマートビルやビルOSに関する技術協力会議に5回参加した。
- (5) LonWorksのみならずビルシステム全体の知識に関する普及啓蒙活動のひとつとして、教育用の環境を整える準備を開始した。教育用資料や機材の購入を実施し、ホームページの準備を行った。
- (6) LMJの事務局引継ぎを実施、ホームページは継続的にアップデートし、最新情報の提供や各種セミナー、展示会の案内を行い、発表提供資料のHPでの公開、公的標準化作業部会への参加等を情報提供した。
- (7) 会員数は3/31現在48会員である。法人会員が9社退会、1社入会、個人会員は4名増加となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) オープンネットワーク普及啓発事業	①ビルオートメーション新技術推進活動（IIoT研究会セミナー開催、各種新製品評価啓蒙他）	開催年4回	Web	8人	メーカー、インテグレータ、デベロッパー、ビルオーナー 50人	1520
	②オープン化技術標準化活動（LMJ会員団体との接続検証他）	通年	Web 東京	5人	メーカー、インテグレータ、教育関係者 各30人	37
	③ビル基礎技術教育活動（会員のためのIAP統合環境の準備と利用）	通年	法人事務所	6人	メーカー、インテグレータ、施主、オーナー、教員、学生	154
	④ホームページの活用による情報発信（相互連携団体との情報交換他）	通年	法人事務所	7人	メーカー設計者、施主、オーナー、インテグレータ	81
(2) 標準規格適合ソフトウェア、製品認証事業	標準規格拡大のための調査研究、標準規格の市場における利用を促進する	通年	法人事務所	5人	メーカー、インテグレータ、施主、オーナー、不特定多数	169

(3) その他の事業

ロンマークインターナショナルの新戦略活動を戦略策定会議に定例で参加し貢献した。

令和4年度活動報告

- 方針: 1. スマートシティ、スマートビル実現に必須の最新技術のマルチプロトコルによるIAP統合化を進める
LMJ開発によるマルチプロトコルデモ実機を活用して最新の統合技術をビル設計技術者、計装技術者およびIT技術者へ情報共有
2. 会員が利用できるIAP統合環境の準備と会員が利用できるツール類の整備
3. 業界他団体との協力し、広い分野にわたるオープンネットワーク活用事例や最新情報のエンドユーザ、インテグレータ、メーカへの提供
4. 制御システム設計・開発技術者育成トレーニング及び教材の支援

計画案		活動報告
技術推進及び事業推進委員会	(1) オープンネットワーク普及啓発事業 ① ビルオートメーション新技術推進活動 ・IIoT研究会活動と情報提供及び展示会(本年度2回)参加 1) オープンプロトコルIAP統合関連技術活動(IAP, IoT, クラウド関連.) 2) LON/HD-PLC LVX機器・実機による実証実験 3) IIoT新製品(スマートサーバー、HD-PLCゲートウェイ、照明機器)評価と接続	開催: Web講演あるいはWebセミナーの実施 1. 6/1-3 電設工業展にマルチプロトコルのデモパネル展示 2. 2022.3-2023.4 IIoT推進協議会プロトコル標準化タスクフォースに参加 3. LON/HD-PLC用ブリッジの提案と検証を行い、製品としてブリッジの実用化に貢献 4. 2023.12に大阪技術士会にてスマートビルの講演実施。
	② オープン化技術標準化活動 ・「HD-PLCアライアンス」との月例情報交換会の実施(継続) ・普及団体活動への参加による情報収集活動(JSCA, 技術標準化部会、プロトコル) ・LMI新戦略への対応準備活動と予算化	1. 2022/4-2023/3: 「HD-PLC/LMJ」定例情報交換会の実施12回 2. 2022/8-2023/3: 「スマートシティ/スマートビルに関する活動」ガイドライン策定に協力 3. マルチプロトコル統合化デモシステムの開発とブリッジの開発と検証 4. 2022/4-2023/3 GUT(グリーン東大)の活動参加と情報収集 5. 2022/8-2023/2 LMIの新戦略策定会議に参加
	③ ビルオートメーション基礎技術教育活動 ・LMJ保有旧技術資料の整備と会員公開 ・マルチプロトコル統合の為の技術資料の整備と最新技術資料の公開 ・ビル制御システム技術者教育支援(会員が利用できる統合環境の検討と運営) ・所属団体(東大グリーンICTプロジェクト, JSCA(Japan Smart Community Alliance), スマートIIoT推進フォーラム技術標準化分科会等)活動内容の提供	1. 担当理事により教育用資料の体系を整備、また各ステップ毎の資料の作成(進行中) 2. ビルオートメーションシステムの入門解説用資料の作成 3. 会員企業向けの教育用機材の洗い出しと一部購入(PC, 評価キット等)、来期使用予定 4. GUTの関連からスマートビルのガイドライン作成に協力、令和5年度リリース予定。
	④ 情報発信活動 ・情報発信のインフラが確立できたのでコンテンツの充実と発信(継続) ・Web会議の継続実施必須 ・Webinarシステムの運用とコンテンツの充実 ・相互連携団体とのネット活用協力体制の構築 ・LMIの新戦略対応と最新ニュース翻訳版配信継続 ・会員紹介情報の発信	1. ホームページは最新ニュースとトピックスをタイムリーな発信に努めた。 2. コロナ下で今期も全理事会(12回)と総会をオンラインで実施した。 3. Webinarでデモシステムの実演と講演を行った。 4. HD-PLCアライアンスと定例オンライン会議の実施 5. LMIニュースの翻訳版を毎月アップした。 6. 今期新入会は5, 退会は10, 全会員数は48となった。
	(2) 標準化適合ソフトウェア、製品認証	1. LMIの新戦略策定会議に8月から翌年の2月まで参加し、将来ビジョンの策定を行う 2. 事務局の交代があったがスムーズな引継ぎで、理事会の運営および経理業務に加え顧客対応が改善された。

第十八期

決 算 報 告 書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

(単位：円)

科 目		金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	0		
	三菱UFJ銀行普通預金	16,412,400		
	未収金	0		
	棚卸資産	0		
	流動資産合計・・・①		16,412,400	
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	該当無	0		
	(2) 無形固定資産			
	該当無	0		
	(3) 投資その他の資産			
	該当無	0		
	固定資産合計・・・②		0	
【A】 資 産 合 計 ①+②				16,412,400
【B-1】 負 債 の 部				
1	流動負債			
	未払金	0		
	翌年分前受会費	0		
	流動負債合計・・・③		0	
2	固定負債			
	該当無	0		
	固定負債合計・・・④		0	
【B-1】 負 債 合 計 ③+④				0
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】 - 【B-1】				16,412,400

令和 4 年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN
(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】	資 産 の 部		
1	流動資産		
	現金預金 未収金	16,412,400 0	
	流動資産合計・・・①		16,412,400
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産 該当無	0	
	(2) 無形固定資産 該当無	0	
	(3) 投資その他の資産 該当無	0	
	固定資産合計・・・②		0
【A】	資 産 合 計 ①+②		
【B-1】	負 債 の 部		
1	流動負債		
	未払金 預り金	0 0	
	流動負債合計・・・③		
2	固定負債		
	該当無	0	
	固定負債合計・・・④		
	負 債 合 計 ③+④		
【B-2】	正 味 財 産 の 部		
	前期繰越正味財産額	17,242,203	
	当期正味財産増減額	-829,803	
	正 味 財 産 合 計		16,412,400
【B】	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】+【B-2】		16,412,400

令和4年度 活動予算管理月報

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人LONMARK JAPAN

(単位：円)

科	目	金	額
		予算額 (A)	決算額 (B) 差異 (B - A)
I	経常収益		
1	受取会費		
	正会員受取会費	3,400,000	2,600,000 -800,000
2	事業収益		
	オープンネットワーク普及啓発事業収入	0	0 0
	協賛金 (共催金)	0	0 0
3	その他収益		
	受取利息	0	146 146
	雑収入	0	0 0
	経常収益計	3,400,000	2,600,146 -799,854
II	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	0	24,000 24,000
	役員報酬	1,200,000	1,200,000 0
	人件費計	1,200,000	1,224,000 24,000
	(2) その他経費		
	会議費	50,000	0 -50,000
	施設・会場費	50,000	0 -50,000
	旅費交通&運送費	200,000	248,141 48,141
	展示物製作費	600,000	191,668 -408,332
	印刷物製本費	50,000	4,040 -45,960
	講師講演費	120,000	0 -120,000
	広報(情報発信)活動費	400,000	124,537 -275,463
	製品認証事業費	200,000	168,836 -31,164
	その他経費計	1,670,000	737,222 -932,778
	事業費計	2,870,000	1,961,222 -908,778
2	管理費		
	(1) 人件費		
	人件費計	0	0 0
	(2) その他経費		
	総会理事会運営費	30,000	19,460 -10,540
	旅費交通費	50,000	9,754 -40,246
	郵便通信運搬費	50,000	27,124 -22,876
	消耗品費・什器備品費	100,000	62,248 -37,752
	事務代行委託料	900,000	990,000 90,000
	オフィス委託費	300,000	330,000 30,000
	支払手数料	10,000	10,901 901
	雑費	30,000	19,240 -10,760
	その他経費計	1,470,000	1,468,727 -1,273
	管理費計	1,470,000	1,468,727 -1,273
3	予備費		
	予備費計	0	0 0
	経常費用計	4,340,000	3,429,949 -910,051
	当期経常増減額	-940,000	-829,803 110,197
III	経常外収益		
	経常外収益計	0	0 0
IV	経常外費用		
	経常外費用計	0	0 0
	税引前当期正味財産増減額	-940,000	-829,803 110,197
	法人税、住民税及び事業税	0	0 0
	前期繰越正味財産額	17,242,203	17,242,203 0
	次期繰越正味財産額	16,302,203	16,412,400 110,197

令和4年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
【A】経常収益			
1 受取会費			2,600,000
正会員受取会費	2,600,000		
2 受取寄附金		0	0
受取寄附金			
3 受取助成金等		0	0
受取補助金			
4 事業収益		0	0
オープンネットワーク普及啓発事業収益			
5 その他の収益		146	146
受取利息			
雑収入	0		
経常収益計			2,600,146
【B】経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			1,224,000
給料手当	24,000		
役員報酬	1,200,000		
(2) その他経費			737,222
会議費	0		
旅費交通・運搬費	248,141		
展示物製作費	191,668		
印刷製本費	4,040		
講師講演費	0		
広報（情報発信）費	124,537		
製品認証事業費	168,836		
その他経費計	0		
事業費計			1,961,222
2 管理費			
(1) 人件費			0
人件費計	0		
(2) その他経費			1,468,727
総会理事会運営費	19,460		
旅費交通費	9,754		
郵便通信運搬費	27,124		
消耗品・什器備品	62,248		
事務代行委託費	990,000		
オフィス賃貸料	330,000		
支払手数料	10,901		
雑費	19,240		
その他経費計	0		
管理費計			1,468,727
経常費用計			3,429,949
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-829,803
【C】経常外収益			
経常外収益計	0		
経常外収益計			0
【D】経常外費用			
経常外費用計	0		
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			-829,803
法人税、住民税及び事業税・・・④			0
前期繰越正味財産額・・・⑤			17,242,203
次期繰越正味財産額③－④+⑤			16,412,400

令和4年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正）によっています。
- (1) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	オープンネット ワーク普及啓発 事業	製品認証事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費	0	0	0	2,600,000	2,600,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0
4. 事業収益	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	146	146
経常収益計	0	0	0	2,600,146	2,600,146
II 経常費用					
(1) 人件費					
給料手当	24,000	0	24,000	0	24,000
役員報酬	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000
人件費計	1,224,000		1,224,000		1,224,000
(2) その他経費					
会議費	0	0	0	0	0
施設・会場費	0	0	0	0	0
旅費交通費&運搬費	248,141	0	248,141	0	248,141
展示物製作費	191,668	0	191,668	0	191,668
印刷製本費	4,040	0	4,040	0	4,040
講師講演費	0	0	0	0	0
広報（情報発信）活動	124,537	0	124,537	0	124,537
製品認証事業費	0	168,836	168,836	0	168,836
総会理事会運営費	0	0	0	19,460	19,460
旅費交通費	0	0	0	9,754	9,754
郵便通信・運搬費	0	0	0	27,124	27,124
消耗品費・什器備品費	0	0	0	62,248	62,248
事務代行委託費	0	0	0	990,000	990,000
オフィス賃貸料	0	0	0	330,000	330,000
支払手数料	0	0	0	10,901	10,901
雑費	0	0	0	19,240	19,240
その他経常費用計	568,386	168,836	737,222	1,468,727	2,205,949
経常費用計	1,792,386	168,836	1,961,222	1,468,727	3,429,949
当期経常増減額	-1,792,386	-168,836	-1,961,222	1,131,419	-829,803

残高証明書 ACCOUNT BALANCE CERTIFICATE

7249-0005

神奈川県 逗子市 桜山
7-1395-18

株式会社 三菱UFJ銀行



作成日 令和 05 年 04 月 03 日

特定非営利活動法人 LONMARK
JAPAN 様

MUFG Bank, Ltd.

お取引店 市ヶ谷 支店

電話 03 (3262) 4111



|||||

NH9A1A20230404 089758#

0014 RYBI150D E N 11

K1

(全口座 (口座別))

同文のもの 1 通発行の内第 1 号
(014-1308423)

令和 05 年 03 月 31 日現在の貴方ご名義下記勘定残高について
相違ないことを証明いたします。

THIS IS TO CERTIFY THAT THE BALANCE OF YOUR ACCOUNT(S)
WITH MUFG Bank, Ltd. SHOWS THE AMOUNT(S) INDICATED BELOW.

1 ページ

[illegible]

- ・この証明書の金額は訂正いたしません。
- ・金額は、証明日現在の元帳最終残高を表わし決済未確認の証券類を含んでいることがあります。この場合はその金額を「(内決済未確認証券類)」に表示します。
- ・「当座貸越(総合)」には、普通預金貸越型のカードローンご利用額も含まれます。
- ・口座番号欄は、口座指定のご依頼の場合のみ表示します。

YBI01 NH9A1A R0006866
2334706

1/1

以上





特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

監査報告書

令和5年5月17日

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

理事長 富田 俊郎 殿

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

監事 豊田 隆志 (印)



私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの会計年度における会計及び事業の監査を行ない、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法

- 会計

帳簿ならびに会計書類の閲覧など、計算書類の正確性を検討した。

- 事業

事務局から事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など、事業執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示しているものであり、事業報告の内容は真実と認める。

よって、活動計算報告・事業報告は適正であることを認めます。

以上



特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

監査報告書

令和5年5月19日

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

理事長 富田 俊郎 殿

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

監事 茂泉 勝弘



私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの会計年度における会計及び事業の監査を行ない、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法

- 会計

帳簿ならびに会計書類の閲覧など、計算書類の正確性を検討した。

- 事業

事務局から事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など、事業執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示しているものであり、事業報告の内容は真実と認める。

よって、活動計算報告・事業報告は適正であることを認めます。

以上